



【委員】専務理事が常勤になったことでどう変わったのか。

【財団】職員との対話等が増えたこと。課題が発生した場合、すぐに指示ができるようになった。

お客様から選ばれる施設とは

【委員】一番問題なのはお客様から選ばれなかったこと。なぜお客様から選ばれなかったのかを分析したのか。

【財団】接客、施設、サービス提供などさまざまな要因がある。一つ一つ何が課題であったか、確認しながら取り

組んでいきたい。

【委員】露天風呂休止による収益の低下とあるが、仮に露天風呂が再開になった場合、どう数字が上がってくるのか検討したのか。

【当局】お客様からの強い要望が多い。規模などを具体的に検討していく必要がある。

【委員】経営なので、数字を出して検討しなければならず、入湯料アップについて、どの程度上げればよいか考えはあるのか。

【当局】リサーチをして、投資効果、回収すると何年かかるかなど、どの程度の効果があるかの戦略があつての投資である。今後、具体的な数字を示さなければならぬ。

【委員】収益的事業の営業努力は、具体的にどのようなように行っているのか。

【当局】企業訪問、ダイレクトメールなどを行っている。今後も職員が一丸となって取り組んでいく。



- その他
- 白鷹町食育・地産地消推進計画
 - 防災重点ため池ハザードマップ作成事業の進捗状況
 - 町道路線の認定及び廃止
- などについて説明を受けた。

産業建設常任委員協議会 2月22日

町民目線の再整備計画か

白鷹町ふるさと森林公園再整備計画の策定状況について説明を受けた。

【背景】

白鷹町ふるさと森林公園は町民保養センターのオープンから34年、施設の老朽化が著しい。加えてコロナ禍の影響を大きく受け、先行きが不透明な厳しい経営状況が続いており、町民の健康増進をはかるとともに、公園の機能充実と魅力を高めるため再整備計画の策定に取り組む。

うに反映しているの
か。
【当局】町民保養センターとして必要なので残してほしいという意見や露天風呂の復活への声が多くあった。また、職員の研修が重要である。

町民と一緒に考えた施設に

【委員】町唯一の施設であり、町民と一緒に考え、何とかうまくいくような案を出し合つて、明るい方向を見つけていただきたい。

露天風呂の計画は

【委員】慢性的な赤字体質を改善しながら、露天風呂を設置するのかが、
【当局】光熱水費が赤字を生んでいる。露天風呂の設置となると加温などが必要になるが、新たに温泉を掘るか鉱泉的なもので行くか、バイオマスにより加温

検討委員会の検討内容は

【委員】検討委員会の中で具体的なにはどのような意見が出て、どのよ

